

普仙寺だより

<<

>>

第189号 平成23年5月



平成23年度普仙寺華頂婦人会役員の皆さん
平成23年4月8日、月並法要後撮影

諸行無常

今回の東日本大震災に被災された皆様にお見舞い申し上げます。そして、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

仏教の言葉のひとつに「諸行無常」があります。ここでいう「行(ぎょう)」は、「おこなってきたこと」「してきたこと」「行為」「修行」の意味ではありません。

仏教で言う「行(ぎょう)」には、あらゆる現象、目に見えるもの、聞こえるもの、知ることのできるものすべてを指す場合もあります。すべてのものが無常なのです。

それゆえ、縁を大切にすることです。

住職の短歌

昨年に詠んだ短歌の続き(前回は2月号)を掲載します。

平成22年4月

新学期桜吹雪の帰り道母子手を取り信号を待つ

小雨降る四月半ばの知恩院石段上は桜絨毯

杜甫を説く国語教師のその顔は嬉しさ溢る夏の教室

ベトナム、ドク氏のドキュメントを観て詠める歌一首

辛きこと有りともこの世では耐へて行く可し人は恋しき

知恩院御忌詠唱の大会の指揮を勤めて御影を拝す

故水兵フィリピンマニラ市街戦歴史知らざる僧の念仏

黒合羽赤き合羽の夫婦をり春の雨降るキャベツの畑

公園の紅色躑躅白躑躅ベンチの母子笑みて語らふ

男の子祝ふ幟は鯉の様身体強く覇気潔く

薔薇茨苦しき道を歩み行く君住む町の駅に向かひて

芍薬の蕾一輪瓶の中投げ入れ人の帰る日を待つ

手を掛けし庭の藤棚花咲けり真下の椅子に君と座らむ

米原の駅を過ぎれば広田あり水に映るは五月青空

一面の黄色赤色チューリップ君の手を取り歩みて行かむ

伊吹山麓の村も田植済む男二人の声の掛け合ひ

滋賀平野麦刈る頃となりにけり農道歩く人の後ろ手

六月の三河の山の深緑しばし眺めむ車留めて

かぐ山の祖師遺跡の道標刻みの文字を指にてたどる

小学生の頃を思ひ出して詠める歌一首

雨となる午後の授業の廊下には傘持ち来たる母の顔あり

六月の二十二日の知恩院選択集の音読の声

六月ハワイを旅して

ハワイにて念仏詠唱へむと同行人と空を旅する

岸門主歌に詠まれし銅像を遠忌法要その日に拝す

ホノルルの別院今日は大遠忌念仏唱へ祖師に感謝す

海近きカウアイカピア浄土院堂の内外詠唱の声

庭園の開眼コロア浄土院テープ切る中慶祝和讃

アロハとは先住民の挨拶語如何に思はむ母国語の人

祖国より来たる我等を接待す潮焼けしたる老人の腕

嘉禄の法難、知恩院参拝と選択集拝読案内

期日

6月20日(月)

(本年は住職の都合で20日に行います)

集合場所

豊橋駅新幹線改札前

集合時間

午前7時15分

日程

午前7時24分 新幹線こだま号乗車
午前9時30分 知恩院御影堂参拝
午前10時 知恩院勢至堂参拝
午前11時30分 昼食
正午 知恩院勢至堂山亭にて『選択本願念仏集』拝読
参加者集合
午後1時 知恩院御廟拜殿にて『選択本願念仏集』拝読
午後3時30分 解散

参加申込

所定の申込用紙に必要事項を記入して普仙寺へお申し込み下さい。

締切

6月15日までに

交通費

当日、個人で負担して下さい。

参加費(当日)

知恩院参拝 1000円

服装

袈裟・数珠

800年前の法然上人

今から800年前、建暦元年(西暦1211年)の5月、法然上人の周辺ではどのような事があったのでしょうか。
法然上人は、後鳥羽上皇の命によって四国流罪となり、4年前の3月16日京都を出発して讃岐生福寺に留まられていました。
同年12月8日、流罪を許す命が下りました。しかしながら、京都に戻ることは許可されず、摂津の国勝尾寺に留まることとなりました。
800年前の今月をもって、法然上人は、勝尾寺に居られること3年5ヶ月になりました。

850年前の法然上人

今から850年前、永暦二年(西暦1161年)の5月、法然上人の周辺ではどのような事があったのでしょうか。
法然上人は、この年数え29歳。
13歳の時、比叡山延暦寺に入り、多くの書を読み勉強修行なされました。
24歳の時、比叡山を下り、奈良、醍醐、そして仁和寺に赴き、高僧に対面して教えを請いましたが、求めるものは得られず、再び比叡山に帰りました。
そして、仏教のあらゆる経典を読んで、人々が救われる道を探しておられました。

知恩院御忌法要

平成23年の知恩院御忌法要に、普仙寺より合計2名の方が参加されました。

21日の詠唱奉納大会に、黒柳 花子さんをご参拝されました。

住職 加藤 良光は司会をしました。

おてつぎ推進協議会の御忌奉仕には、神山 盛二さんが4月17日から9日間ご奉仕されました。

寺行事案内

土曜礼拝（どようらいはい）

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

月並法要（つきなみほうよう）

平成23年6月8日（水） 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。